

# そよかぜきた 親子読書チャレンジ

日置市立伊集院北小学校 PTA 副会長 黒木 由紀子

伊集院北小では、毎年、学級ごとに一年間取り組む学級テーマを決めて、PTA活動に取り組んでいます。その年によって、内容は違いますが、ほとんどの学年で、親子読書に関係する取組を実施しています。

我が家は、現在、四番目の子どもが小学4年生になりました。息子は、文章を読んだり、読み解いたりすることを少し苦手になっています。そこで、息子が小学2年生の時から、家庭での取組として、毎月一回の読み聞かせを続けてきました。「本を読みなさい」と言っても、読むことが嫌いな息子はなかなか読もうとしません。また、仮に読んだとしても、文字を追うことに一生懸命で、本の内容は二の次になつて頭には入っていない様子です。でも、読み聞かせをすると、読んでもらうことに

よつて、本の内容に集中でき、頭の中でイメージが浮かび想像力が膨らみます。そして、文字を読む負担なしに、ただただ心を踊らせて本の世界に聞き入ることが出来ます。以前、読み聞かせグループの方に「読み手が親であれば、より一層安心感や信頼感をもって、心の栄養になる」と聞いたこ

とがあります。

息子は、毎月の読み聞かせを楽しみにしています。読んでもらっている間は、とても絵本に集中しています。短い時間ですが、親子の時間をもつことも出来ます。子どもに強いことなく、親子で楽しめる読み聞かせをこれからも続けていきたいと思えます。



親子で読み聞かせをしている様子です